

消防団員

報酬・手当を引き上げ

団員の
処遇を改善

面的に見直し。

●町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団員等の処遇改善で、団員の年額報酬、出勤手当ともに増額。

●町災害復興基金条例の廃止

東日本大震災後に設けた基金で、今後、活用が見込まれないため廃止。

●高齢者福祉センター条例

●職員の子育休等に関する条例の一部改正

職員の妊娠・出産・育児と仕事の両立支援のため、勤務環境の整備等に関する措置が追加。

により契約金額を2億6199万8000円増額し、31億549万8000円に変更。

株式会社(盛岡市)

◆施設名 田野森林雇用促進住宅

◆契約相手 株式会社 銭高組東北支店(仙台市)

◆指定期間 4年4月1日から8年3月31日まで

●新庁舎建設工事(1期)・電気工事等の変更契約

太陽光発電設置等により、契約金額を9617万1900円増額し、5億6830万4000円に変更。

◆契約相手 岩館電気

●町辺地総合整備計画の変更

道路や橋梁の長寿命化のため路線等を追加。

●ロシアのウクライナへ

の軍事侵攻に抗議し非難する決議(議員発議)

内容は、次ページのとおり。

一般会計の補正は減額に

一般会計は、1237万円減額し、総額83億2410万円に。主な歳入は、地方交付税のうち普通交付税が1億111万円の増額、町債のうち臨時財政対策債が3384万円の減額、町税のうち固定資産税が2270万円減額となっている。

歳出は、財政調整基金等積立金に1億5023万円増額、経済活性化事業費に720万増額。

国の法律改正でへき地医療確保対策費としての病院会計への補助金等が減額となった。

各会計の補正額と一般会計・歳出の主な内容は次のページのとおり。

3年度 補正予算

| 会計名 | 今回補正額 | 補正後の予算 | |
|-----------|-----------------|------------------|--------------------|
| 一般会計(第7号) | △1237万円 | 83億2410万円 | |
| 特別会計／企業会計 | 国民健康保険事業(第3号) | △367万円 | 9億3126万円 |
| | 農業集落排水事業(第1号) | △2096万円 | 2億679万円 |
| | 後期高齢者医療事業(第1号) | 380万円 | 8654万円 |
| | 国民健康保険病院事業(第2号) | 収益的収入 △3078万円 | 収益的収入 10億8642万円 |
| | 水道事業(第2号) | 収益的支出 58万円 | 収益的支出 1億9394万円 |

《一般会計の主な使いみち》

- 財政調整基金等へ積立て…………… 1億5023万円
公共施設等整備基金、町債減債基金へ積立て
- 経済活性化事業費…………… 720万円
宿泊クーポンの実績による増額など
- 病院会計への負担金減額…………… ▲4389万円
国の改正により、へき地医療確保対策費等を減額
- 畜産振興総合対策事業費…………… ▲905万円
いわて地域農業マスタープラン実践事業補助金の減額など
- 観光事業経費…………… ▲1784万円
くずまき型DMO事業の委託料・大橋木橋工事費の減額など

議員発議

ロシアのウクライナへの軍事侵攻に抗議し非難する決議

ロシアによる「NATO(北大西洋条約機構)の脅威」への対抗を理由とするウクライナへの軍事侵攻は、平和を希求する国際社会の長年の努力を無にし、国際秩序の根幹を揺るがす行為であり、我が国を含む世界の平和と安全を著しく脅かすものである。

このような、武力による一方的な現状変更の行動は、領土保全・武力不行使等を規定する国連憲章と国際法に明らかに反する行為であり、断じて看過できない。

さらに、核兵器の使用をほめかし国際社会を威嚇するような言動は、唯一の核兵器による被爆国である我が国にとって、断じて容認することはできない。

よって、葛巻町議会は、ウクライナの主権を侵害するロシアの軍事侵攻に対し、抗議と非難の意を強く表明するとともに、ロシア軍のウクライナからの即時・完全・無条件撤退を強く求める。

そして、不当な侵攻から自国の主権と領土、自由と民主主義、家族と同胞を守るため、困難な戦いの中にあるウクライナ国民に寄り添う気持ちを表すとともに、世界の恒久平和を強く念願する。以上、決議する。

令和4年3月15日

葛巻町議会

賛成討論

『大型事業の財源
堅実に確保』



山崎 邦廣 議員

4年度の一般会計予算と特別会計・企業会計予算に賛成する。

4年度の一般会計の予算案は、約75億6000万円の規模で、3年度と比較して、約10億2000万円の増額となる大型予算である。

この主な要因は、新庁舎等の建設事業に、約16億4000万円計上されたことであるが、新たな“まちづくり”の拠点として、多くの町民の皆さんが完成を待ち望んでいる事業である。事業の着実な実施に向けた取り組みを期待する。

一方では、大型となる歳出予算の財源である「歳入」が、堅実に確保されている。その内容は、交付税措置のある有利な起債を活用、また、起債を充てられない部分には、積立てた基金が確実、効率的に充てられており、財政の安定確保が図られているものと、評価する。

4年度予算は、町の最重要課題である「人口減少対策・地方創生」と、町総合計画に掲げられている「いきいきと輝き続ける“ひと”」、「誰もが住みたくなくなる“まち”」、「地域資源を活かす“しごと”」の3つの基本目標の実現に向けて、各分野の事業の有用性が考慮された、きめ細やかな予算である。

(要約)

■反対討論なし